

第 23 回 もも脳ネット 理事会（コアメンバー会議） 議事録

日 時：平成 28 年 2 月 16 日（火）19：00～20：00

場 所：川崎医科大学附属川崎病院 北館 2 階ホール

出席者：岡山市立金川病院（大森医師）

岡山医療センター（奈良井医師、高塚 MSW）

岡山赤十字病院（岩永医師 西本医師 中野 MSW 橋 MSW）

岡山ろうさい病院（片山医師 内田 MSW）

岡山旭東病院（野間 OT）

岡山市民病院（梅田 Ns）

岡山中央奉還町病院（古田 MSW）

岡山光南病院（宮森医師 土手医師 松井 Ns 西村 MSW）

岡山リハビリテーション病院（森田医師 盛谷 MSW）

津山第一病院（万代 PT 横山事務）

こうなんクリニック（西崎医師）

川崎医科大学附属川崎病院（井上医師 中野 Ns 富田 MSW 潮 MSW 筒井 MSW）

岡山市歯科医師会（角谷医師）

都窪歯科医師（山本医師）

岡山県介護支援専門員協会（丸田 CM）

岡村一心堂病院（吉田事務）

計 16 施設 30 名（敬省略・順不同）

議 事

1. 平成 27 年度県民フォーラムについて

- ▶ 岡山医療センター（奈良井医師）より、平成 28 年 1 月 23 日（土）岡山未来ホールにて行われた県民フォーラムについて下記の報告があった。

入場者数は約 800 人であった。年代別では、60 代から 70 代の参加者が多かったが、20 代から 30 代の参加もあった。また、講演だけでなく各ブースも盛況だったが、待ち時間に関しての苦情があった。

2. 連携パス改定について

- ▶ 岡山ろうさい病院（片山医師）より下記報告があった。
 - ・ 2016 年度春季より両備システムズの SE へ連携パス改訂の業務委託を行う予定である。また、改定費用については、脳卒中地域医療連携普及推進事業 2017 年度岡山県予算から算出予定である。2016 年夏季より両備システムズの SE とコアメンバーで連携パス改訂内容について検討していきたい。
- ▶ 岡山リハビリテーション病院（森田医師）より下記報告があった。
 - ・ もも脳ネットホームページ上にある資料室のページへ掲載されているオーバービューパスの表示について、大腿骨頸部骨折と脳卒中で違いがある（大腿骨頸部骨折：オーバービューパス、脳卒中：地域連携診療計画書）。今後は表示をオーバービューパスで統一する予定である。

3. もも脳ネット次年度の事業案について

- ▶ 川崎医科大学附属川崎病院（井上医師）より下記報告があった。
 - ・ 2016年度事業案について、備前県民局河合氏より岡山市へ提出済みである。予算については2017年3月下旬頃に脳卒中地域医療連携普及推進事業岡山県予算が決定することになっている。正式に予算が決定次第、理事会や運用総会で報告する予定である。

4. 在宅パスとの統合について

- ▶ 岡山県介護支援専門員協会（丸田ケアマネジャー）より下記報告があった。
 - ・ 北児島医師会地域で運用されている在宅パスは、地域で認識され始めたように思う。
 - ・ 各医療機関への聞き取り調査を行った結果、ケアマネジャーが持参する情報提供シートが医療機関に認知されつつあるが、ケアマネジャーの考えが伝わりづらいとの意見もあった。今後の方向性としては全国統一のアセスメントシートを利用する可能性が高い。
 - ・ 岡山県東備方面への訪問が終了し、東備地域のルールブックが完成した。今後も引き続き各医療機関へ訪問予定である。

5. その他

- ▶ こうなんクリニック（西崎医師）よりケアキャビネットについて下記報告があった。
 - ・ ケアキャビネットの活用方法としては、医療機関と在宅サービス担当者が情報を共有できるものであり、地域包括ケアシステム内で活用させるのが適していると考えている。
- ▶ 岡山市立金川病院（大森医師）より下記報告があった。
 - ・ 平成28年1月23日（土）岡山未来ホールにて行われた県民フォーラムでは患者家族に講演してもらった。県民フォーラムのように、患者自身が体験を話す会は今後も必要である。そのため、今後は患者同士でディスカッションできるような機会を検討していきたいと考えている。

【今後の会議日程】

・ 第41回 運用総会

日時：平成28年3月16日（水）19：00

場所：岡山赤十字病院 センター棟4階 研修室

幹事：川崎医科大学附属川崎病院

・ 第24回 理事会

日時：平成28年5月24日（火）19：00

場所：川崎医科大学附属川崎病院 北館2階 ホール

（書記 川崎医科大学附属川崎病院：潮・筒井）